

2019年 12月 1日

発行 黒石すばるの会

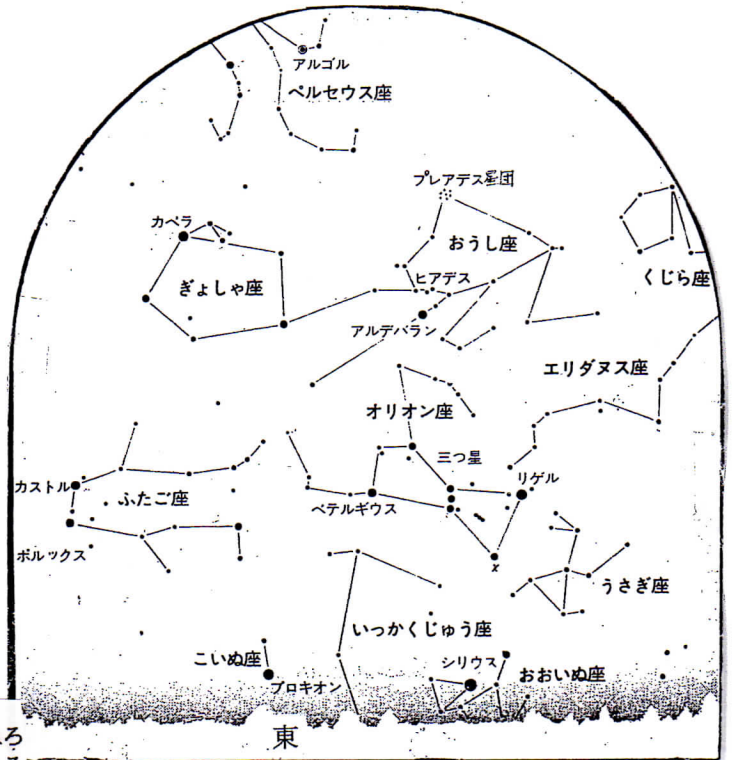
<http://subaru9614.dip.jp/>

12月の星空情報

東の星空

東の空にはオリオン座やふたご座など冬の代表的な星座のほとんどが姿をあらわしていますが、月初めは夜9時近くにならないとよく見えないので中旬以後のほうが観察に適しています。

やや高い空で目につくホタルの群のような星の集団はおうし座のプレアデス星団で、日本では昔から首飾りの玉をあらわす「すばる」とよばれて親しまれてきました。



月はじめは 21時ころ
10日前後は 20時20分ころ
20日前後は 19時40分ころ
月まつは 19時ころ

西の星空

四角形のペガサス座が逆立ちするような格好でがんばっています。

そのペガサス座の左下の低い空にはみなみのうお座の1等星フォーマルハウトがありますが、それを含めて、今、宵の空には、全部で21個ある1等星のうちのほぼ半分が姿を現しています。

また、時刻の関係で図には書けませんが、日没直後の南西のいて座には、動きの遅い0.6等の土星と、どんどんやぎ座の方に動く-4等の金星、さそり座の方に向かって、これも動きの速い-1.8等の木星がいます。

